

農業技術センター普及指導部作物関係情報（臨時）

タイトル：台風第8号接近に伴う水稻の被害防止対策について

発信日：平成26年7月7日

1 内容

- ・ 気象庁発表の台風情報によると、台風第8号が日本列島に接近しており、今後の進路によっては、強風及び大雨による影響が懸念される。
- ・ 現在、県内の水稻は、概ね分けつ期～最高分けつ期を迎えており、3日程度の冠水では収量に影響はない。しかし、すでに早期植えでは幼穂形成期を迎えている水田があり、こうした水田では3日程度の冠水により幼穂枯死等による穂数、籾数減少や奇形穂が発生することによって、減収する可能性がある。
- ・ 台風の襲来が予測される場合、次の対策を実施する。
なお、事故防止の観点から台風接近後における水田等の見回りについては、気象情報及び周囲の状況を十分に確認し、大雨、強風が治まり、安全な状況になってから行うこと。

2 事前防止対策

- ・ 排水路の詰まり等の点検、清掃を行い、浸水、冠水時の速やかな排水に備えること。
- ・ 可能であれば、水田に水を深く張る深水湛水を行うことが望ましい。

3 事後対策

(1) 排水対策

浸水、冠水した場合は、速やかに水田から排水し、新鮮な水で2～3回湛水、排水を繰り返す。排水時にゴミ等を極力早く取り除く。

(2) 潮風害対策

風台風、特に台風が北側を通過する場合は、潮風害（塩害）を受けやすいため、台風通過後、可能な場合は、動噴等を利用して真水を散布し、洗い流す。

(3) 病害対策

大雨によって水田が冠水した場合、白葉枯病の発生が心配されるので注意する。さとじまんでは、特に注意する。

台風襲来後は、セジロウンカ等のウンカ類の発生が多くなりやすいので、発生情報に注意し、状況に応じて早目の防除に努める。

連絡先

農業技術センター普及指導部作物加工課
平塚市上吉沢1617
TEL：0463-58-0333 内線381～384
FAX：0463-58-4254